

第3学年体育科学習指導案

日 時：令和4年11月24日 公開授業1

対象学級：3年3組 32名

指導者：野田千恵

1 単元名

表現運動 表現「レッツ クッキング！」

2 内容のまとめ

第3学年及び第4学年

F 表現運動 ア 表現

3 単元の目標

- (1) 題材からその主な特徴を捉え、対比する動きを組み合わせて繰り返したりして表したい感じをひと流れの動きで即興的に表現することができるようにする。 [知識及び技能] (1) ア, イ
- (2) 自己の能力に適した課題をもち、題材の特徴を捉えた表現の仕方を工夫するとともに、友達が工夫したよいところを伝えたり取り入れたりすることができる。[思考力, 判断力, 表現力等] (2)
- (3) 運動に進んで取り組み、誰とでも仲良く表現したり、友達の動きや工夫を認めたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。 [学びに向かう力, 人間性等] (3)

4 単元について

(1) 児童について

ア 児童はこれまでに「表現遊び」として、身近な動物や乗り物など、自分ではない何かに変身し、なりきって全身の動きで表現するという体験をしてきている。

イ 1学期は、リレーの学習で担任がとった動画を見合い、自分や友だちの走りを何度も見た。互いの良いところを伝え合ったり、自分たちの課題として考えたりするなどの経験がある。

(2) 教材について (題材)

ア 本単元は、中学年における表現の「はじめの段階」を想定している。本単元では、児童にとって身近な料理から題材を取り上げ、それが出来上がるまでの様子や動きの特徴を捉えて、変化のあるひと流れの動きにして即興的に表現できるようにする。身近な生活の中から選んだ題材は、児童が経験したり触れたりしていることが多いことから、具体的な動きやそのものの様子をイメージしやすいという特徴がある。補助教材として、イメージカードを用い、どの子も動きを連想することができるようにしたい。

イ 本題材では対応する動きを組み合わせて、繰り返したりして、動きを誇張しながら表現することができるようにする。自己の心身を解き放して、リズムやイメージの世界に没入し、なりきって表現することを楽しんだり、互いの良さを生かし合って表現する楽しさを味わったりできるよさが本題材にはあると考える。

(3) 指導について

ア 本単元における言語活動の特徴等

表現運動を通して、題材の変化する様子（料理でのびたり、とけたり、焼かれたり、揚げたりなど）を捉えるようにする。また、動きの誇張や変化の付け方として、動きの質感（ふわふわ、ぷりぷりなど）や形状の変化も付けるようにする。

イ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫等

「主体的な学び」を実現するために、導入段階で、表現運動の約束や単元の見通しをもたせるようにする。課題解決に向け、全身を使って4つ（空間、体、リズム、関係）のくずしを意識し大げさに表現すること常に意識しながら取り組んで行けるようにする。

「対話的な学び」を実現するために、自分や友だちの動きをロイロノートで録画し、記録を見合ったり、友だちと意見交換をしたりする場面を活動の中に取り入れていく。試行錯誤しながら、よりよい表現を見出していくことで、表したい感じや場面の動きを決定していくことにつながるようにする。

「深い学び」を実現するために、さらに友だちとの試行錯誤を繰り返しながら、料理が出来上がるまでをひと流れの動きにまとめていく。他のグループとの関わりから、個人の動きや集団の動きの練習を積み重ね、自分たちが表したい動きをつくりあげていくようにする。

ウ 研究の手立てとのかかわり

ICT やイメージカードを活用して題材のイメージを焦点化し、本単元の課題を確認する。料理のイメージを友達に伝える手立てとして資料を常に確認できるようにしたり、ロイロノートで自分の動きを録画したりする。ペアやグループでの交流の際、ロイロノートに残した録画を交流しながら、発表へとつなげる。表現の課程を記録していくことで、自分や友だちの変容を捉えることができるようにする。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知① 表現の仕方について言ったり書いたりしている。 技② 出来上がるまでの様子や動きの特徴を捉えてひとながれの動きにし、全身で表現している。	① 自分や友だちの表現を見て課題を見つけている。 ② 課題に応じて、対応する動きを組み合わせたたり、繰り返したりして、表現したいイメージに合う動きを選んでいく。 ③ 表現したい動きになっているかを友達と見合い、考えたことを伝えている。	① 表現運動に進んで取り組もうとしている。 ② 友だちとの関りを通し、自分の役割を果たそうとしている。

6 指導と評価の計画 (5時間) レッツ クッキング!

	時間	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目 (本時)	5時間目
学習の流れ	導入	10分	<p>オリエンテーション</p> <p>○表現運動の学習の進め方を知る。</p> <p>○表現運動の約束を知る。</p>			
	活動1	15分	<p>1 ダンスウォーミングアップ</p> <p>・だるまさんがころんだ ・二人組で踊ろう ・鏡の世界</p> <p>・新聞紙になろう ・ジャンケンダンス などから選んで行う。</p> <p>2 めあての確認</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">料理のイメージを広げて、思いつくままに表現することを楽しもう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">表したい動きが強まるように、友だちと工夫して表現することを楽しもう。</div> </div>			
	活動2	15分	<p>○ダンスウォーミングアップ</p> <p>ICT (視覚化 焦点化)</p>	<p>3 カードをめくり即興で表現。</p> <p>・2人組でカードをめくり、表現を楽しむ。</p>	<p>3 ひと流れの動きになるように表現。</p> <p>・カードをめくり2人組で表現する。</p> <p>・料理の場面を決め、ひと流れの動きになるように表現する。</p>	<p>3 ひと流れの動きになるように表現。</p> <p>・4人組でカードをめくり表現する。</p> <p>・料理の場面を決め、ひと流れの動きになるように表現する。</p>
活動2	15分	<p>思いつくまま自由に表現しよう</p> <p>○2人組でイメージカードをめくっては、イメージすることを出し合い、即興で表現することを繰り返す。</p>	料理の場面を選び、ひと流れの動きにして表現しよう			
	5分	<p>学習の振り返り</p> <p>楽しかったこと、友だちのよかったところを伝え合う。カードに書く。</p>				
評価の重点	知	①観察 学習カード		②観察 対話 ICT		②観察 学習カード
	思		①観察 ICT	②観察 ICT 学習カード	③観察 ICT 学習カード	
	態	①観察				②観察

7 本時の指導(4時間目/全5時間)

(1) 目標

表現したい動きになっているかを友達と見合い、考えたところを伝えあうことができる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (◇評価)	用具資料
導入 10分	1 ダンスウォーミングアップをする。 ・ジャンケンダンス ・新聞紙になって	・おへそを意識して、大きく体を使えるように助言する。 ・イメージを広げて、思いつくまま自由に表現することを楽しむようにする。	BGM
展開	<p>表したい動きになっているか、友だちと見合ったり、考えを伝えあったりして自分たちのクッキングを完成させよう。</p>		資料提示
① 15分	3 ひと流れの動きになるように表現する。 ・ 4人組で表現する。 ・ 表したい料理を確かめ、ひと流れになるように表現の仕方を工夫する。 ・ ロイロノートの動画機能で撮影したり前回の動きと比べたりしながら、表現の仕方を工夫する活動を繰り返す。 ・ 一番表したい動きがよくわかるように動きを工夫する。 ・ 始まりの動きや、終わりのポーズ、終わり方を決める。 ICT (視覚化 共有化)	・動きを確かめていくよう助言する。 ・気に入った動きを繰り返すようにする。 ・大きな動きにつながるアドバイスをする。 ・表したい動きを共有し、焦点化できるよう友達の動きを真似し合ったり、動きをつなげたり関わり合ったりして表現できるよう助言する。 ・掲示物やアドバイスで4つのくずしを意識できるようにする。 ◇【思・判・表③】 (観察・対話・ICT) 表現したい動きになっているかを友達と見合い、考えたことを伝えている。	掲示物 タブレット 電子黒板
展開 ② 15分	4 見せ合う活動をする。 ・他の4人組と表現を見せあう。 ・互いに見合い、良いところをほめたり、アドバイスしたりする。 ・アドバイスをもとにさらに表現に工夫を加える。 ICT (視覚化 共有化)	・見せあう組を決める。 ・表したい動きがよく伝わったか、4つのくずしをもとにして、見合ったり話し合ったりするようアドバイスをする。	
終末 5分	5 振り返りをする。 ・学習カードに書き、感想を話し合う。	・よかったことを中心に発表したり、書いたりする。 ・次時の予告をする。	学習カード

(3) 板書及び電子黒板等の計画

ア 板書

🔍 レッツ クッキング! 🍲

めあて

表したい動きになっているか、友だちと見合ったり、考えを伝えあったりして自分たちのクッキングを完成させよう。

工夫の
ポイント

くずし (おおげさに)

○空間 向きや場所 集⇔広

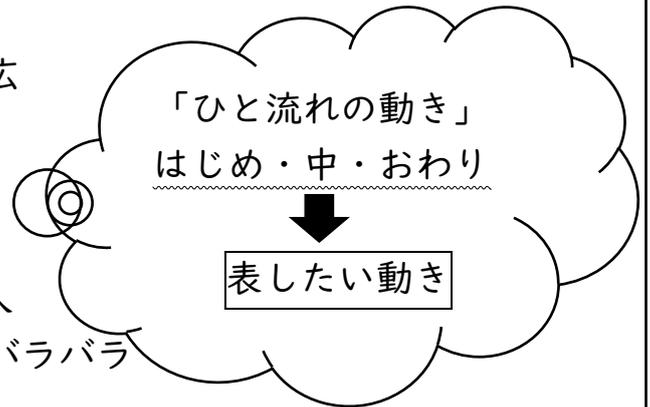
○体 ねじり 大⇔小

高い⇔低い

○リズム 速⇔ゆっくり

○人のかかわり 1人→2人

みんなで→バラバラ



活動の流れ

1. ダンスウォーミングアップ
2. めあて
3. 4人組で表現しよう (表したい動き 工夫 タブレット)
4. 見せ合おう (さらに工夫 はじめ・なか・おわり ポーズなど)
5. ふりかえり

イ 電子黒板

イメージを共有するために料理の映像を提示。

児童の動きを提示